



まえだ えみこ
前田 恵美子 さん

1954年1月13日生まれ。
小児性水俣病。父母は水俣病認定。
発病前後のこと、子どもの頃の明神の様子や子どもの頃の遊び、家族や親戚の水俣病のこと、学校生活、青春時代、現在の状況などを語る。
2008年5月から水俣病資料館の「語り部」となる。
水俣市明神町在住

私は、小さい頃は大人の長靴を履いて走りまわるほど元気でしたが、2.3歳頃急に歩けなくなり、うまくしゃべれなくなりました。当時はまだ原因もわからなかったのが小児麻痺ではないかといわれました。

生まれたのは明神町で、近所には家が4件しかありませんでしたが、みんな家族のように仲がよく、いじめられたことはありませんでした。おじいさんは網元で、水俣病で9年間寝たきりで亡くなりました。たばこが好きだったので、火をつけてくわえさせたりしました。両親も水俣病で、親戚も被害を受けています。お父さんは患者団体の会長をしていました。

小学校に入学したのは10歳頃です。お父さんが自分でできないことも多いからと心配して学校に行かせませんでした。病院のケースワーカーの先生が、入院して訓練をしながら学校に行くことをすすめてくれました。入院中はたくさんの人が慰問に来てくれたのでさびしくありませんでした。中学校を卒業したのは18歳でした。その頃は全国からたくさんの支援者の方が来て、若い患者さんと交流を共にし、心の支えになってくれました。

現在は、エコパークの中にあるグローバルという所で花の管理やゴミの分別などの仕事をしています。父母は亡くなり、今は姉達と暮らしています。リハビリのためミサンガやマフラーを編んだりします。趣味は写真でバラなど季節のお花や風景を撮っています。

私は水俣が好きです。チツソがあったから、水俣は大きくなりました。

【写真；幼い頃自宅にて】

